

## 制度を拡充した場合の財政的試算

### ①特定不妊治療助成の制度拡充について

・治療費から県助成金額を控除した額を全額補助し、“自己負担なし”とした場合  
(平成26年度庄原市不妊治療費補助金交付実績を基に試算)

治療費総額	9,600,753 円	
-県助成総額	-3,150,000 円	
-現行市助成額	-3,007,745 円	(A)
<b>=自己負担総額</b>	<b>3,443,008 円</b>	<b>(B)</b>

制度拡充した場合、新たに(B)の額が補助対象となるため

(A)3,007,745円+(B)3,443,008円= **6,450,753円**の事業費となる見込み

さらに、経済的理由により特定不妊治療を受けていない潜在的な対象者の増で5割程度を見込むと、

6,450,753円×1.5=**9,676,130円(C)**

(参考:三次市 H27特定不妊治療全額補助開始)

H26特定不妊治療助成件数	50件	
H27特定不妊治療申請見込	100件	(予算額25,896千円)

### ②一般不妊治療、一般不妊検査の助成開始について

不妊に悩む夫婦が6組に1組であるとして推計すると、

庄原市の平成26年の出生数(=231件)から、 $231/5 \div 46$ 組程度の対象者が見込まれる。

対象者の半数から1組あたり5万円の申請があったとすると、

46組×0.5×50,000円=**1,150,000円(D)**

(参考:福山市 H27一般不妊治療助成開始)

H26出生数	4,347人	
H26特定不妊治療助成件数	705件	実績額約86,150千円
H27一般不妊治療申請見込	320組	予算額約9,400千円

	所要額(円)	備考
(特定)助成拡大	6,668,385	(C)-(A)
(一般)新規助成開始	1,150,000	(D)
<b>(E)新規所要額小計</b>	<b>7,818,385</b>	
現行制度助成額	3,443,008	(B)
<b>合計</b>	<b>11,261,393</b>	<b>(E)+(B)</b>